

教育学専攻（修士課程）

令和8年4月公表

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）			教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）			入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）		
武庫川女子大学大学院文学研究科教育学専攻修士課程では、本学の定める修業年限以上在学し、所定の履修方法に従って30単位以上を修得し、「MUKOGAWA COMPASS」に基づく次の資質・能力を身につけたうえで、論文審査および試験に合格した者に対して、課程修了を認定し修士（教育学）の学位を授与します。			武庫川女子大学大学院文学研究科教育学専攻修士課程では、本専攻の定めるディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を達成するために、次のような方針に基づき、カリキュラムを編成します。 本専攻は、「教育哲学・人間学分野」「教育方法・教育経営分野」及び「幼児教育・保育分野」の3分野にわたって広く学べるように、必修科目、選択必修科目及び選択科目からなる教育課程を編成します。 必修科目では教育の研究のための基礎的な理解を得ること、選択必修科目では教育の研究に必要な知識や技法などに習熟すること、選択科目では講義と演習を組み合わせて教育のさまざまな問題領域に関する洞察、理解、探究を深め、学生一人ひとりが自らのキャリアプランに則して専門知識や能力を身につけることを目指します。それらの学修成果を総合し応用するために修士論文の執筆を求め、修了年次末に提出する修士論文をもって教育課程を通じた学修成果の総括的評価を行います。			武庫川女子大学大学院文学研究科教育学専攻修士課程では、「立学の精神」と「MUKOGAWA COMPASS」に共感し、これらに基づいた、本専攻のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を理解したうえで、本専攻のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する人の入学を受け入れます。		
武庫川女子大学人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」の3要素（知識・姿勢・行動）および8項目			MUKOGAWA COMPASSに対応するディプロマ・ポリシーの項目			武庫川女子大学人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」の3要素		
知識	1	多様化・複雑化する社会を理解する力	1	教育・保育に関する実践・研究を支える基礎的な知識、汎用的な技能、デジタル社会に対応できる基盤的リテラシーを有している。	知識	社会を理解し、教育学に関する高度な研究能力を身につけるために必要な基礎学力を有している。		
	2	“生きること”につながる専門性	2	教育・保育の高度な実践・研究を行うために必要となる基本的な知識、技能および倫理観などの専門性を有している。		教育学および関連する学問領域についての様々な知識を活用する力を有している。		
姿勢	3	自他を尊重する姿勢	3	自らの存在価値を認め、すべての人々が個人として尊重されるべき存在であるという理解に基づいた教育・保育に関する実践・研究活動ができる。	姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。		
	4	失敗を恐れず挑戦する姿勢	4	教育・保育に関する実践・研究において、試行錯誤を繰り返しながら生涯にわたり学び続ける姿勢を身につけている。		教育学に関する研究を遂行する熱意を有している。		
	5	逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	5	自らの理想とする教育・保育観を明確に持ち、それをもとにして、逆境や困難に粘り強く対応し、実践・研究を続ける姿勢を身につけている。				
行動	6	論理的に考え伝える力	6	教育・保育に関する実践・研究において、根拠を基にした論理的な思考ができ、自分の考えを相手にわかりやすく伝える力を有している。	行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。		
	7	新たな価値を創造する力	7	教育・保育に関する課題解決と新たな価値の創出に向けて、情報を収集し、整理・分析して統合的・発展的に考えて実践・研究の成果を発表することができる。				
	8	多様な人々と協働する力	8	互いを尊重し共生していける社会を目指して、多様な人々と積極的に連携・協働し、リーダーシップを発揮することができる。		豊かな感性と公平な視点を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度を有している。		